

ロータリアンとしての矜持をもって機会の扉を開こう!

“Open the doors to opportunity with the dignity of a Rotarian!”

第1838回 例会 令和7年7月10日(木)

司会：会場運営委員会 星野 敦鋭 委員
会報No.1613号／担当：委員一同

会員数：75名／出席率：66%

ロータリー情報月間

ビジター・ゲスト

2025-2026年度 国際ロータリー第2770地区



第8グループガバナー補佐
大熊 正行 様



ガバナー補佐幹事
近藤 慎吾 様



青少年奉仕部門委員長
星野 晃一郎 様

プログラム

- ◆開会点鐘 会長 隅田 諭司
- ◆ロータリーソング・クラブソング斉唱
- ◆ビジター・ゲスト紹介 会長 隅田 諭司
- ◆会長挨拶 会長 隅田 諭司
- ◆幹事報告 幹事 石渡 毅
- ◆委員会報告 各 委 員 会
- ◆ビジター・ゲスト挨拶

2025-2026年度 国際ロータリー第2770地区

- ・第8グループガバナー補佐 大熊 正行 様
- ・ガバナー補佐幹事 近藤 慎吾 様
- ・青少年奉仕部門委員長 星野 晃一郎 様

--- コーヒーブレイク ---

◆クラブ協議会

■会員増強部門

勧誘委員会／会員選考維持委員会／オリエンテーション・教育委員会／公共イメージ委員会

■クラブ管理運営部門

未来委員会／プログラム委員会／親睦友愛委員会／出席委員会／会場運営委員会／スマイル委員会

- ◆スマイル報告 スマイル委員会
- ◆出席報告 出席 委 員 会
- ◆閉会点鐘 会長 北林 隆一



会長挨拶

会長 隅田 諭司



本日のテーマは、「青少年交換留学はロータリーの醍醐味だ!」です。

先月開催されましたカルガリー国際大会のテーマは、
Service Above Self:

Empowering Communities Globally

(超私の奉仕：世界中のコミュニティを力づける)

Innovation for Impact:

Building a Sustainable Future

(インパクトのための革新：持続可能な未来の構築)

であり、ロータリーの核心的な使命と未来志向のテーマが掲げられました。この大会で得られた学びについては、実際に参加されました浜野さんや佐久間さん、田辺さん、深江さんたちに語って頂きたいです。



私は、このテーマを見たときに、ちょうど27年前に未だロータリアンになる前の34歳の時に参加したGSEプログラムでの体験を思い出しました。

5080地区 アメリカとカナダに跨がっているエリアで、アメリカ側は、ワシントン州とアイダホ州、カナダ側は、ブリティッシュコロンビア州日本の面積の半分以上の広さである比較的カントリーサイドの13の市を5週間かけて訪れて参りました。

14のロータリークラブの例会と地区大会に参加しまして、スライドを用いての、プレゼンテーションは15回やらせて頂きました。

プレゼンの際には、必ずジョークで、「金髪の女性をお嫁さんにゲットして帰ります」、という爆笑して頂くことが出来ました。さすがアメリカ・カナダは、常に笑う用意が出来ているユーモアの本場だなと思いました。

時間が無いので、急ぎ、写真で振り返るとこんな感じです。

5週間の間に13のホストファミリーのお世話を頂きまして、たくさんの裁判所や弁護士事務所、ロースクールなどを見学出来ました。

34歳で生まれて初めてお母ちゃん以外の人にパンツを洗ってもらいました。

とにかくホスピタリティの本場なんじゃないかな。

あれは大丈夫か？これは大丈夫か？って、次から次へと日本人のおもてなしとはまた違って、気遣いというものがすごくロジカルなんですね。そう、だから、私が、自然と自分の口から絞り出てきた言葉がこれです。そう **Everything is fine!**

これを言うと、十分ですが相手に論理的に伝わって、もう黙ります。

Everything is fine! が帰ってくるまで尽くそうとする、そんな体験であり、私にとっての奉仕というものものの人生における原点になっています。

さて、時を今に戻しましょう。

いよいよ来月には2名の青少年交換留学生を送り出して、また迎え入れます。

私たちは、国内にいて、いつもどおりの生活をしていきますけれども、ホストファミリーになって頂ける井橋さんや山上さん、その他にも私たちはの留学生のサポートをすることで、その人を力づけ、その人の人生とコミュニティすらも力づけることになるでしょうか？まさに **Empowering Communities Globally** (超我の奉仕：世界中のコミュニティを力づける) ではないでしょうか？

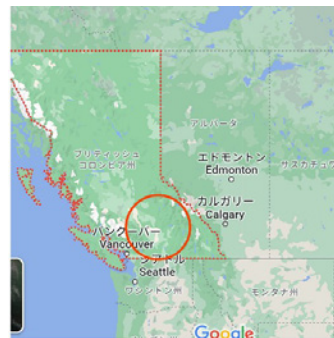


そして、留学生は、まさにこれからの未来を創る青少年ですから、留学から得られた体験が、**Building a Sustainable Future** (持続可能な未来の構築) となるでしょう。

そして、これらの成果は、ホストファミリーになって頂ける方々の成果にとどまらず、クラブの成果であり、みんなの成果なんだということをぜひ共有させて頂きたいと思います。

以上、本日の会長挨拶となります。ありがとうございました。

「青少年交換留学は、
ロータリーの醍醐味だ！」



訪問した場所 5080地区

アメリカはアイダホ州、ワシントン州
カナダはブリティッシュコロンビア州

CLUBS IN DISTRICT 5080 An International District

訪問先マップ



11の市に滞在

日本の国土の半分以上の面積

14のホストファミリー

① 5/8-5/9 2泊	スポーゲン	⑦ 5/28-5/29 2泊	インバーミア
② 5/10-5/11 2泊	トラインディ	⑧ 5/30-5/31 2泊	ボールドウィン
③ 5/12-5/13 2泊	ウラウラ	⑨ 5/31-6/1 2泊	ナカスプ
④ 5/14-5/15 2泊	オールドウィ	⑩ 6/2-6/3 2泊	グランドホークス
⑤ 5/16-5/17 2泊	コートブレン	⑪ 6/4-6/5 2泊	キャッスルガー
⑥ 5/18-5/19 2泊	クランブルク	⑫ 6/6-6/7 2泊	キャッスルガー
⑬ 5/20-5/21 2泊		⑭ 6/8-6/9 2泊	スポーゲン

ワラワラの裁判所 裁判官室



インバーミアでのホストファミリー



ロビンさん
アマンダさん

ナカスプでのホストファミリー



キャッスルガーでの地区大会



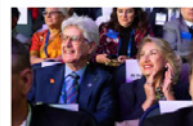
キャッスルガーでの地区大会 GSEプレゼン



国際大会（カルガリー）のテーマ

Service Above Self: Empowering Communities Globally
(超我の奉仕：世界中のコミュニティを力づける)

Innovation for Impact: Building a Sustainable Future
(インパクトのための革新：持続可能な未来の構築)





①会員アンケートの実施

前年度、未来委員会が実施してくださったものとは別にあらためてGoogleフォームで行います。クラブの活性化、例会や奉仕活動への意見収集などが主な目的です。

②浦和ダイヤモンドクラブのメンバーが9月18日にメーキャップで来られます。

③昨日、会長幹事会が開かれました。

当クラブへのガバナー公式訪問は10/16となります。多くのメンバーでお迎えしましょう。

④第8グループの他のクラブの情報です。

越谷北ロータリークラブ主催の第16回越谷ジュニア甲子園大会が、7/30（水）に越谷市民球場で開催予定です、開会式は8時からとなります。

⑤ポリオのTシャツのご案内いたします。募金活動の際に、メンバーで揃って着用いたします。お買い求めください。S～XLサイズ1,980円、3Lサイズ2,200円となります。

⑥地区大会記念ポリオ根絶チャリティゴルフコンペのご案内です。

・日 時：令和7年10月6日（月）、

・開催コース：東松山カントリークラブ

詳細は、親睦友愛委員会の宮本さんまでお願いします。

⑦地区に対してご質問やご意見ある方は本日中にご連絡ください。

ビジター・ゲスト挨拶

2025-2026年度 国際ロータリー第2770地区



第8グループガバナー補佐
大熊 正行 様



ガバナー補佐幹事
近藤 慎吾 様



青少年奉仕部門委員長
星野 晃一郎 様

2025～2026年度

クラブ協議会

■会員増強部門

会員選考維持委員会／オリエンテーション・教育委員会／公共イメージ委員会

■クラブ管理運営部門

未来委員会／プログラム委員会／親睦友愛委員会／出席委員会／会場運営委員会／スマイル委員会

SAA（会場監督）

大野 祐肇



副SAA：平野 武志・田中 基章

SAAとは、Sergeant at Armsの略で、「武装した護衛官」という意味です。その起源は中世英国の封建君主が、身辺護衛のため任命した武装士官に始まると思われます。その後議会制度ができてから、議院の命令を執行し秩序を維持する役人を呼ぶ名称となり、さらに米国でも上下両院等立法機関で同様の役目を果たす人を、このように呼ぶことになりました。ロータリーでは、SAAを「会場監督」としています。ロータリークラブがSAAを正式な役職として定めたのは、シカゴ・クラブ創立翌年の1906年です。当時、昔からの社交クラブには、会合の秩序維持のためにSAAを置く習わしがあり、恐らくそれを真似たのでしょう。

さて、今年度の方針においては、例年通りとなりますが「例会3分前のアナウンス」「例会時間の厳守」「講和中は私語を慎む」この3点を重点に、例会が明るく、ユーモアもあり、秩序と品格を保持できるよう監督をして参ります。

会計方針

栗田 晴巳



この方針書は、昨年度のコピーです。そう言うと言わねば皆さんは意外に思われるかと思いますが、それは、事務局が2名体制になり、事務機能が大幅にアップし、そのチェック機能を会計が担う事にしたのが、大野直前会計です。従いまして会計は帳簿がきちんと整理されているか、入出金は全て記載されているか等のチェック機能に専念できるようになった訳です。それで、私は、大野年度を踏襲して行くことにいたしました。大野祐肇会員に感謝致します。

.....

会計監査

会田 皓章



会員増強部門

部門委員長 青木 伸翁



会員選考維持委員会

委員長 橋本 政行



オリエンテーション・教育委員会 副委員長 佐久間 誠



公共イメージ委員会

委員長 霜鳥 正隆



クラブ管理運営部門

部門委員長 加藤 盛也



今年度クラブ管理運営部門委員長を拝命しました加藤です。

部門の役割としては、関係委員会と連携してロータリー活動を円滑に進めるためのサポート、会員が有意義なロータリー活動に参加できる環境を作るサポートだと考えています。

簡潔に言えば、会員が例会に積極的に出席して楽しく学び、親睦を深めてクラブの目的を達成できる道筋を作っていきます。

そのための第一歩として、各委員長には委員全員を巻き込んで活動をしてもらい、隅田会長が掲げる「ロータリアンとしての矜持をもって機会の扉を開こう」のスローガンを共有してもらいたいと思います。

一年間よろしくお願いします。

クラブ協議会

未来委員会 委員長 シャジンバット・ウスコバヤ



隅田会長の所信にもある、選ばれるクラブから憧れられるクラブになるように委員会を運営します。

越谷東クラブの会員で良かった或いは越谷市クラブに入会して良かったと思ってもらえるように頑張ります。

会員の皆さまの親睦活動に積極的な参加をお願いします。

出席委員会

委員長 田邊 麻衣



プログラム委員会

委員長 佐久間 誠



会場運営委員会

委員長 星野 敦鋭



親睦友愛委員会

委員長 浜野 隆浩



スマイル委員会

委員長 鈴木 一郎

副委員長：竹内 達也

委員：中村 吉宏、仁多見 英一、山崎 晶弘



【委員会方針・抱負】

1. 例会時間の範囲内で会員のメッセージを明るく、効率よく正確に伝えます。
2. 会員の皆様が「スマイル」しやすい環境づくりに努めます。
3. 寄付金を正確に集計し、幹事確認後、事務局に引き継ぎます。

4. 定期的に累計金額を、社会奉仕委員長、ロータリー財団委員長、米山記念奨学委員長に報告いたします。

.....

閉会挨拶

会長エレクト 宮下 智之



今 回	56,000円
累 計	86,000円



スマイル委員会 委員長 鈴木一郎



司会：会場運営委員会 委員長 星野敦鋭



出席委員会 委員長 田邊麻衣

次回例会のご案内

第1839回 7月17日(木) 12:30点鐘

● ビジター・ゲスト

2025-2026年度 青少年交換留学生

・伊藤 合紀 様

・宝達 縁 様

● クラブ協議会

■ 奉仕プロジェクト部門

職業奉仕委員会／社会奉仕委員会／国際奉仕委員会／国際交流委員会／奨学学友委員会／青少年奉仕委員会／インターアクト委員会／ローターアクト研究委員会／ロータリー財団委員会／米山記念奨学委員会

